



捨印

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 2 年 6 月 27 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ タツノチカ・ツクホ・ウサイマップ・サセイン・ツコウインカイ
団体名 竜之口学区防災マップ作成実行委員会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	竜之口学区防災マップ作成
事業実施小学校区・地区	竜之口学区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 3 回目 / 【平成 30 年度から】
課題	1. 自然災害が少ない地域で学区民の災害に関する意識が薄い。 2. 災害時の避難については会議等でいろいろ話し合いをしていたが、急な自然災害が発生した場合に迅速な避難行動ができる避難マニュアル作成が急務です。 3. 要支援等で町内会へ入会されていない人、特にアパートの入居者氏名、人数の把握は個人情報に関する問題点、その為学区全世帯の把握は困難な状態です。また、広報活動も同様に入居者の有無の確認すら困難な場合もあります、災害時（避難）の全世帯広報をどの様に活動するか苦慮しています。 4. 各家庭に配布されている岡山市発行のハザードマップが活用されていない事が判った。 5. 新型コロナウイルスの影響で委員会の開催ができず、諸課題（避難マニュアル・要支援者）の取り組みについて委員全体で会議の開催が出来ず、今後の委員会開催も危ぶまれ不安である。
事業の目的	いざ災害が発生した時に地域の全住民が、最大限、安全にそしてより適正に避難活動ができることが必要であり、個人・地域・行政が情報共有しやすい仕組みを作っていくことを目指すため、学区全体の共有実践資料として「竜之口防災マップ」の作成を目指す。 具体的には、岡山市のハザードマップを活用し住んでいる場所を認識し災害時の一時避難場所や二次避難所、危険区域や通行不可の可能性のある道路、子どもたちの通学路途上の危険箇所、新たに避難時に役立つ物、場所などを書き込み、また、重点場所の写真を記載し子ども、高齢者に見て判りやすいマップを作成、避難訓練や平常時の訓練などに活用できるマップを作成する。

事業の内容	1. マップ改定版の発行について 岡山市発行の最新のハザードマップを活用する。 ・地域の危険場所、避難時に役立つ物、場所（コンビニ・スーパー・自販機等）を再確認、避難所、避難場所、二次避難所などのデータを各町内会のより収集し、マップに落とし込む。 ・災害規模等により地域の事業所と連携を図り、防災訓練への参加の呼びかけ、避難場所として活用できる仕組みを進める。 2. 警戒レベル情報を記載 3. 学区全体へ「防災マップ」完成の案内。 6. 各町内会、公共施設、必要施設などに配布。 7. 2月23日（日）携帯型防災避難マップを活用した学区全体の防災訓練を実施。 8. 色々な集まりの時に「竜之口防災マップ」を活用し図上防災訓練を行う。
期待される成果・目	1. 災害情報、避難情報等を学区民が共有し、災害時に於ける避難が可能になる。 2. 今後、このマップを活用して毎年、色々なテーマで防災訓練ができるようになる。 3. 学区民全体の防災意識の高揚を図る事ができる。 4. 学区は宅地開発も多くマップの定期的な見直しも必要となる。
企画などの工夫	1. 岡山市発行のハザードマップを活用することで自分が住んでいる場所の危険度の確認ができる。 2. 高齢者等にも判りやすい、市の避難警戒レベルを明記する。 3. 特に危険な場所、役立つ物、場所、避難所、避難場所、二次避難所等重点場所の写真を記載する。 4. 子ども、高齢者等の目線で避難所までの経路を確認し反映する。
協働する団体等	1. 地域の公共施設 東公民館 2. 地域の事業所・病院・スーパー・商店等 ながけクリニック、コートー電器、両備ストアー、東岡山自動車教習所、四御神郵便局 3. 学校・消防署・警察署 竜之口小学校、竜操中学校、県立東岡山工業高校、県立豊学校、竜操消防署、高島交番
事業の情報公開	1. 学区連合町内会の幹事会等でマップ作成について各町内会へ情報伝達する。 2. 各町内会へマップを配布する。 3. 市の主要な施設へマップを配布する。 4. マスコミに発表。 5. 電子町内会で公開する。

学区 地区 への 広がり	1. 防災マップができて色々な場所で防災に関する話題作りがある。 2. 連合町内会を基に各町内会からマップ作製に委員を選出し、また各種団体へも参加を呼びかけ色々な目線から防災意識を高める。 3. 新たな委員も加わり学区へ広まりが感じられる。 4. 防災訓練に様々の人々の参加がある。
前 年 度 か ら の 見 直 し 拡 充 点	・岡山市発行の最新のハザードマップを活用する。 ・地域の危険場所、避難時に役立つ物、場所（コンビニ・スーパー・自販機等）を確認、マップへ追記する。 ・市の避難情報5段階をマップへ明記する。 ・特に危険な場所、役立つ場所、避難所、避難場所、二次避難所等の重点場所の写真を記載する。 ・地域の事業所と連携を図り、災害時に避難場所として新たに活用できる仕組みを進める。
次 年 度 以 降 の 予 定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 学区は住宅開発が頻繁にあり、新築・アパート等の入居者に都度「防災マップ」の配布を考慮しなければならない事の課題。 避難時の要配慮者支援等で町内会へ入会されていない世帯、特にアパートの入居者氏名、人数の把握は個人情報に関する問題点、この問題は当学区だけではないと思います。その為学区全世帯の把握は困難な状態です。また、広報活動も同様に入居者の有無の確認すら困難な場合もあります、災害時（避難）の全世帯広報をどの様に活動するか苦慮しています。問題点解決（放送塔設置等）の情報収集等を行っています。 ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ■（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： 各町内会からの徴収を検討中
そ の 他 P R し た い 点	岡山市発行の最新のハザードマップを活用している。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	・ 連合町内会総会で概要を説明
5月	・
6月	・ 課題の創出 ・ 申請書作成
7月	・ 連合町内会幹事会
8月	・ 区づくり審査会 ・ 実行委員会開催
9月	・ 実行委員会開催 ・ 各町内会、避難経路の危険場所、避難時に役立つ物等点検 ・
10月	・ 各町内会、避難経路の危険場所、避難時に役立つ物等のまとめ ・ マップの原稿作成
11月	・ マップの原稿最終確認 ・ 校正
12月	・ 印刷発注
1月	・ 印刷完了 ・ マップを学区民へ配付する。
2月	・ マップを関係の主要な施設へ配付する。 ・ マップを活用した防災訓練（避難訓練）を実施する。 ・ 反省会を行う。
3月	・ 監査 ・ 総会

収 支 予 算 書

◆収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	112,000	147,500	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	113,500	147,500	竜之口学区連合町内会
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	225,500	295,000	

◆支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	225,500	270,000	マップ印刷 3,000 枚 会議用カラーコピー400 枚 会議用コピー 600 枚
会議費	0	10,000	お茶
消耗費	0	15,000	プリンターインク、用紙
計	225,500	295,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

印刷代支払

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入